学校整理番号（102）

シラバス（授業内容）

インナービューティ科　1年

ブライダルビューティ専攻

学校法人　中村学園
アイエステティック専門学校

学校整理番号(102)

シラバス(授業内容)

科目名	ホスピタリティ			クラス名	S1E	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	－	後期	－	2年合計単位	－
担当講師	黒坂　朋子					
	実務経験	有	客室乗務員として通算8年おもてなしの仕事に従事してきた経験をもとに、ホスピタリティあふれる接遇を指導する。			
目的及び概要	ホスピタリティの精神を理解し、おもてなしの心を素直に表現できる人材の育成を目的とします。前期では、心理学の知見を応用し、自己分析による自己理解と自己受容を深め、改善点の気づきや行動変容の重要性を学びます。また人と人との関わりの中で他者を理解・受容し上手な交流のあり方を学び、将来顧客対応をする学生の接客スキル向上を目指します。					
到達目標	自己肯定感を高め、自信を持って交流できるようになる。他者への配慮や共感できる感情能力を知り、上手に対応できるようになる。おもてなしの心を形にできるようになる。					
授業運営方法	演習形式　・　講義形式					
教科書	ホスピタリティマインド養成ワークブック					
＜授業計画＞	前　期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	オリエンテーション	ホスピタリティとは・・・　定義とゴール(目的)の確認
第2回	2	自分自身のフィードバック	他己紹介と絵による自分表現
第3回	3	自分自身のフィードバック	他己紹介と絵による自分表現
第4回	4	ホスピタリティの精神を理解	ホスピタリティマインドとは・・・人間力を高めるには・・・
第5回	5	自己理解・自己受容	まずは自分を知ろう　心理学による自己分析
第6回	6	自己理解・自己受容	人との関わり方において強み弱みに気づき、自己改善に繋げる
第7回	7	ホスピタリティマインドの確立	「～のせい」から「～のお陰で」に切り替え、自己肯定感を高める
第8回	8	ホスピタリティマインドの確立	NOTOK感情をため込まないために・・・
第9回	9	ホスピタリティマインドの確立	プラス思考とマイナス思考の違い
第10回	10	振り返り	DVD鑑賞
第11回	11	他者理解・他者受容	価値観とは　グループ討議
第12回	12	他者理解・他者受容	自分や他者のものの見方や考え方の違いを知る
第13回	13	他者理解・他者受容	柔軟性を持ち、他者受容力を高める
第14回	14	前期のまとめ	前期のまとめと試験の説明
第15回	15	期末試験	試験

初回持ち物	テキスト、筆記用具、ipad

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)

成績評価　基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

学校整理番号(102)

シラバス(授業内容)

科目名	ホスピタリティ			クラス名	S1E	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	－	後期	－	2年合計単位	－
担当講師	黒坂　朋子					
	実務経験	有	客室乗務員として通算8年おもてなしの仕事に従事してきた経験を もとに、ホスピタリティあふれる接遇を指導する。			
目的及び概要	ホスピタリティの精神を理解し、おもてなしの心を素直に表現できる人材の育成を目的とします。前期では、 心理学の知見を応用し、自己分析による自己理解と自己受容を深め、改善点の気づきや行動変容の重要性 を学びます。また人と人との関わりの中で他者を理解・受容し上手な交流のあり方を学び、将来顧客対応を					
到達目標	自己肯定感を高め、自信を持って交流できるようになる。他者への配慮や共感できる感情能力を知り、 上手に対応できるようになる。おもてなしの心を形にできるようになる。					
授業運営方法	演習形式　・　講義形式					
教科書	ホスピタリティマインド養成ワークブック					
＜授業計画＞	後　期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	ホスピタリティの振り返り	前期の振り返り
第2回	2	豊かな触れ合い	ストローク(触れ合い)の理解
第3回	3	豊かな触れ合い	DVD鑑賞
第4回	4	豊かな触れ合い	ストロークの演習
第5回	5	豊かな触れ合い	DVD鑑賞
第6回	6	ホスピタリティマインドの発揮	印象ゲーム
第7回	7	ホスピタリティマインドの発揮	印象ゲーム
第8回	8	ホスピタリティマインドの発揮	印象ゲーム
第9回	9	ホスピタリティマインドの発揮	心の4つの窓　第一印象の重要性
第10回	10	サービスの本質	モノ的なサービスとヒト的なサービス
第11回	11	サービスの本質	CSとお客様の心理
第12回	12	ホスピタリティ企業のもてなし	DVD鑑賞(オリエンタルランド社の講演)
第13回	13	ホスピタリティ企業のもてなし	ディズニーのおもてなしとは・・・
第14回	14	期末試験	期末試験
第15回	15	期末試験の確認と振り返り	期末試験の解説と前期のまとめ

初回持ち物	テキスト、筆記用具、iPad

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)

成績評価　基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

学校整理番号(102)

シラバス(授業内容)

科目名	ITコミュニケーション			クラス名	S1E	
1年単位	前期	－	後期	1 単位	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	田中　みゆき					
	実務経験	有	企業研修や大学での授業経験を活かし、実務に活用できるパソコンスキルを習得できるよう指導する。			
目的及び概要	日常業務において、ワープロソフトや表計算ソフトを用いた情報処理や、電子メールなどインターネット利用の技能は、必要不可欠となっています。Windowsの基本操作から始めて、アプリケーションソフトの基本操作を学習します。					
到達目標	アプリケーションソフトの基本操作を理解する ビジネス文書の形式を理解する					
授業運営方法	演習形式　・　講義形式					
教科書						
＜授業計画＞	後　期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	Windows10 基本操作	Windows基本操作
第2回	2	Windows10 基本操作	データのコピー、USBの取り扱い、タイピング
第3回	3	文字の入力	Word　基本操作・文字の入力・保存
第4回	4	文字の入力	Word　記号の入力、IMEパッド、文章の入力
第5回	5	文章の編集	Word　文章の編集・ページ設定・印刷
第6回	6	Google Chrome	Google Chrome　基本操作
第7回	7	ビジネス文書の形式を覚えよう	Word　ビジネス文書の作成
第8回	8	ビジネス文書の形式を覚えよう	Word　ビジネス文書の編集
第9回	9	オブジェクトの挿入	Word　オブジェクトを活用した文書の作成
第10回	10	表の挿入と編集	Word　表の挿入と編集
第11回	11	プレゼン作成	PowerPoint　基本操作
第12回	12	Excel基本操作	Excel　基本操作・式と書式設定
第13回	13	試験対策	Word　試験対策
第14回	14	期末試験	Word　期末試験
第15回	15	期末試験の解説	期末試験の解説、カバーレター作成

初回持ち物	教科書、クリアファイル、筆記用具

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)

成績評価　基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

学校整理番号(102)

シラバス(授業内容)

科目名	業界・就職ガイド			クラス名	S1E	
1年単位	前期	3 単位	後期	1 単位	1年合計単位	4 単位
2年単位	前期	－	後期	－	2年合計単位	－
担当講師	大内 博子 ・ 新山 和子					
	実務経験	－	人事教育担当として、企業の採用や学校等で就職活動についてセミナーを担当。新入社員研修の経験を活かして学生指導やサポートを行う。			
目的及び概要	エステティック・リラクゼーション・メイク・ブライダル・ネイルなどの各業界について、その業界で働く人達からの話しを聞き、多くの情報を収集し自分の適正とマッチングする職業に就くことが出来るように理解を深める。また、今後の就職活動に向け、後期からのからきめに向け、希望職種の内容を把握した上で、専攻選択にも役立てる。					
到達目標	各業界・専攻の理解を深め後期に向けて専攻決定をする					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	前 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1－3	美容業界について	美容業界とはどんなものか/身嗜みについて
第2回	4－6	職種・資格	それぞれの専攻 職種について・コース別資格取得説明
第3回	7－9	キャリアデザイン	自分を理解し、なりたい自分を考える。 外部講師 セミナー(SMB
第4回	10－12	働く事について	外部講師 セミナー
第5回	13－15	業界について	業界の方を招いてどんな仕事かを聞く①【エステ】
第6回	16－18		業界の方を招いてどんな仕事かを聞く②【アロマ】
第7回	19－21		業界の方を招いてどんな仕事かを聞く③【メイク】
第8回	22－24		業界の方を招いてどんな仕事かを聞く④【ブライダル】
第9回	25－27		業界の方を招いてどんな仕事かを聞く⑤【ネイル】
第10回	28－30	先輩からの話	各業界卒業生からの話 【からきめ1回目】
第11回	31－33	先輩からの話	在校生からのお話 専攻・就職活動
第12回	34－36	身だしなみについて	就職活動の身だしなみについて(株式会社コナカ)
第13回	37－39	夏季休暇の就活	夏季休暇中の就職活動・夏季休暇課題について
第14回	40－42	定期試験	課題 レポート
第15回	43－45	キャリアビジョン	人生・仕事において自分自身のなりたい姿を考える

初回持ち物	筆記用具、iPad

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲		○	課題・プレゼンテーション(提出物)

成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

学校整理番号(102)

シラバス(授業内容)

科目名	業界・就職ガイド			クラス名	S1E	
1年単位	前期	3 単位	後期	1 単位	1年合計単位	4 単位
2年単位	前期	－	後期	－	2年合計単位	－
担当講師	新山 和子					
	実務経験	有	人事教育担当として、企業の採用や学校等で就職活動についてセミナーを担当、新入社員研修の経験を活かして学生指導やサポートを行う。			
目的及び概要	就職活動の早期化に伴い、1年前期より就職活動や試験内容に触れ意識の向上を図る。 授業を通じて、自己分析をし向き合う。					
到達目標	就職活動に向けて準備をする					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					

＜授業計画＞		後 期	
回数	**コマ数**	**テーマ**	**授業内容詳細**
第1回	1	専攻別の業種	専攻別の業種・就職先について
第2回	2	企業研究	業種ごとの選択肢を知る
第3回	3		企業研究の仕方・応用と実践
第4回	4	インターンシップ	インターンシップ・エントリーについて・各種書類について
第5回	5	自己PR	自己分析
第6回	6		自己PRの作成①
第7回	7		自己PRの作成②
第8回	8	志望動機	志望動機の考え方①
第9回	9		志望動機の考え方②
第10回	10	計画を立てる	就職活動の本格化・計画を立てる
第11回	11	表現力	表現力の大切さ
第12回	12		表現力を身につける～実践～
第13回	13	面接の基礎	面接の基礎・模擬面接の仕方
第14回	14	期末テスト	期末テスト
第15回	15	設問対策	設問対策・春休みの就職活動について

初回持ち物	筆記用具・就活ファイル(A42穴タイプ)

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲		○	課題・プレゼンテーション(提出物)

成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

学校整理番号(102)

シラバス(授業内容)

科目名	イベントプロモーション			クラス名	S1E	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
担当講師	担任・副担任					
	実務経験	−	−			
目的及び概要	学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。 1年前期の目標:『言われたことができる人になる』					
到達目標	集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築く自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	前 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	スクールライフマニュアル ビューティマナー研修	個人目標設定4月/SAMについて・委員決め
第2回	2		個人目標設定5月、振り返り/ビューティマナー研修(サロン体験)概要について/
第3回	3		ビューティマナー研修について(サロン決め)/カウンセリングシート記入
第4回	4		スクールライフマニュアル【出欠・再認定補講】
第5回	5	目標	個人目標設定6月、振り返り/避難訓練について
第6回	6	オープンキャンパス	オープンキャンパスの体験内容について
第7回	7	ビューティマナー研修	ビューティーマナー研修振り返り(レポート)
第8回	8	コミュニケーションスキル	動画から学ぶコミュニケーションスキル
第9回	9	スポーツ大会	スポーツ大会概要/実行委員決め
第10回	10	目標/専攻別資格	個人目標設定7月、振り返り//からきめ(各専攻の資格について)
第11回	11	スポーツ大会	スポーツ大会競技案
第12回	12		スポーツ大会出場競技決め
第13回	13	ビューティマナー研修	ビューティマナー研修(観劇)概要について
第14回	14	オープンキャンパス	からきめ後のオープンキャンパスについて
第15回	15	アンケート	授業改善アンケート・学校改善アンケート・夏季休暇の過ごし方

初回持ち物	筆記用具、ipad

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲		○	課題・プレゼンテーション(提出物)

成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

学校整理番号(102)

シラバス(授業内容)

科目名	イベントプロモーション			クラス名	S1E	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
担当講師	担任・副担任					
	実務経験	−	−			
目的及び概要	学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。					
到達目標	集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築く自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	**後 期**					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	自己紹介	自己紹介/リーダー・サブ/SAM担当/ビューティマナー課題配布(宿題)
第2回	2	目標設定/スクールライフマニュアル	個人目標/クラス目標/出席・補講について/★ビューティマナー課題提出日
第3回	3	学園祭について	シフト決め/役割分担/制作物
第4回	4	学園祭について	制作物/マニュアル確認
第5回	5	コミュニケーションスキル	より良い学校生活を送るには/クラスコミュニケーション
第6回	6	コミュニケーションスキル	SNS発信について/ディスカッション
第7回	7	学校紹介動画作成	学校紹介動画作成(TikTok)
第8回	8	FUSについて①	日程概要説明/FUSとは動画視聴
第9回	9	FUSについて②	FUS実行委員選出／サプライズについて
第10回	10	FUSについて③	サプライズの作成
第11回	11	FUSについて④	サプライズの作成
第12回	12	FUSについて⑤	サプライズの作成
第13回	13	FUSについて⑥	2年生へ向けて/サプライズについて
第14回	14	FUSについて⑦	来年度FUSへ向けて なりたい自分イメージ
第15回	15	振り返り	振り返り/2年生進級に向けて

初回持ち物	ライフマニュアル、筆記用具、ipad

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲		○	課題・プレゼンテーション(提出物)

成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

学校整理番号(102)

シラバス(授業内容)

科目名	皮膚科学			クラス名	S1E	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	−	後期	−	2年合計単位	−
担当講師	吉田 里子					
	実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要	皮膚の構造を知り、働きを知ることでトラブルのおきない肌にするための知識を学ぶ					
到達目標	自分の肌ことだけではなく、お客様へ肌のアドバイスができるようになる					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	②皮膚科学					
＜授業計画＞	前 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	皮膚の構造	皮膚科学の意味
第2回	2	皮膚の全体像	皮膚として何をしているか
第3回	3	皮膚の表面と表皮	表皮と構成
第4回	4	真皮と皮下組織	真皮の構成成分
第5回	5	付属器	汗腺・皮脂腺
第6回	6	小問題	Chapter1のまとめ
第7回	7	Chapter2 生理機能	皮膚全体としての機能
第8回	8	保護作用	守るようになっている仕組み
第9回	9	保湿作用	乾燥しないようになっている仕組み
第10回	10	感覚・体温調節	自律神経で勝手にしてくれていること
第11回	11	貯蔵作用・吸収作用	皮膚の優秀さについて
第12回	12	小問題・センター問題	まとめとテスト対策
第13回	13	センター問題集	テスト対策
第14回	14	テスト	期末テスト
第15回	15	返却	解説

初回持ち物	皮膚科学のテキスト(2番)

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)

成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

学校整理番号(102)

シラバス(授業内容)

科目名	皮膚科学			クラス名	S1E	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	−	後期	−	2年合計単位	−
担当講師	吉田 里子					
	実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要	皮膚の構造を知り、働きを知ることでトラブルのおきない肌にするための知識を学ぶ					
到達目標	自分の肌ことだけではなく、お客様へ肌のアドバイスができるようになる					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	②皮膚科学					
＜授業計画＞	後 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	前期復習	復習①
第2回	2		復習②
第3回	3		復習③
第4回	4	スキンホメオスタシスと肌	自律神経の状態が肌に出ること
第5回	5	内臓と血液循環と肌	内臓の状態が肌に出ること／マッサージの必要性
第6回	6	栄養と肌の健康	栄養素と肌
第7回	7	季節別スキンケア	季節別お手入れ方法
第8回	8	老化肌とは	肌が老化するとは
第9回	9	自然老化と光老化	光老化が80%を占めることについて
第10回	10	日焼けと老化	日焼けで老化する現象
第11回	11	しわ・しみ	しわ・しみの悩み
第12回	12	テスト対策	テスト対策：例題集を解く
第13回	13		答え合わせ、解説
第14回	14	テスト	期末テスト
第15回	15	返却	返却・答え合わせ、解説

初回持ち物	②皮膚科学のテキスト・線を引く為のカラーペンや蛍光ペン(何色でも可)

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)

成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

学校整理番号(102)

シラバス(授業内容)

科目名	生理学			クラス名	S1E	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	-	2年合計単位	1 単位
担当講師	佐々木 圭					
	実務経験	有	スポーツトレーナーの経験を元にカラダの仕組み(解剖・運動生理学)を伝えていく。			
目的及び概要	人を美しくし、身体のコンディションを整えるためには、身体の内部の構造を知らないと働きかけることができません。骨や筋肉や内臓機能などの解剖生理学、脳、神経系やストレスなどの心身生理学、運動などの身体活動に対する運動生理学などの各分野の基礎知識を学びます。					
到達目標	生理学についての基礎知識を習得していく。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	③解剖生理学					

＜授業計画＞		前 期	
回数	**コマ数**	**テーマ**	**授業内容詳細**
第1回	1	人体のあらまし	ヒトとは、人体の成り立ち、主な器官
第2回	2	人体の成り立ち	細胞・組織・器官
第3回	3	骨格系	骨とは□
第4回	4	骨格系	全身の骨格□
第5回	5	筋系	筋とは
第6回	6	筋系	全身の筋肉
第7回	7	筋系	全身の筋肉
第8回	8	神経系	神経系のあらまし
第9回	9	神経系	中枢神経
第10回	10	神経系	末梢神経
第11回	11	感覚器系	感覚器のあらまし
第12回	12	感覚器系	皮膚・眼・耳・鼻・舌
第13回	13	期末テスト対策	セエステティシャンセンター試験筆記例題集
第14回	14	期末テスト	授業内範囲
第15回	15	期末テスト返却	フィードバック

初回持ち物	③解剖生理学テキスト・筆記用具・ipad

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)

成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

学校整理番号(102)

シラバス(授業内容)

科目名	生理学			クラス名	S1E	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	-	2年合計単位	1 単位
担当講師	佐々木 圭					
	実務経験	有	スポーツトレーナーの経験を元にカラダの仕組み(解剖・運動生理学)を伝えていく。			
目的及び概要	人を美しくし、身体のコンディションを整えるためには、身体の内部の構造を知らないと働きかけることができません。骨や筋肉や内臓機能などの解剖生理学、脳、神経系やストレスなどの心身生理学、運動などの身体活動に対する運動生理学などの各分野の基礎知識を学びます。					
到達目標	生理学についての基礎知識を習得していく。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	③解剖生理学					
＜授業計画＞	後 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	消化器系	消化器系のあらまし
第2回	2	消化器系	胃・肝臓
第3回	3	消化器系	小腸・大腸
第4回	4	呼吸器系	呼吸とは
第5回	5	呼吸器系	気道・肺
第6回	6	循環器系	循環器系のあらまし
第7回	7	循環器系	心臓血管系・リンパ系
第8回	8	血液	血液の成分
第9回	9	内分泌系	内分泌のあらまし
第10回	10	内分泌系	視床下部・甲状腺
第11回	11	内分泌系	膵臓・副腎
第12回	12	泌尿器系	泌尿器系とは
第13回	13	期末テスト対策	エステティシャンセンター試験筆記例題集
第14回	14	期末テスト	授業内範囲
第15回	15	期末テスト返却	フィードバック

初回持ち物	③解剖生理学テキスト・筆記用具

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)

成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

学校整理番号(102)

シラバス(授業内容)

科目名	栄養学			クラス名	S1E	
1年単位	前期	1 単位	後期	−	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	−	後期	−	2年合計単位	−
担当講師	吉田 里子					
	実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要	栄養素とは何か、食べ物で体はできていることを理解し、食べたいものを選ぶのではなく、必要なものは何か、不要なもの(病気の原因となるもの)は何かを理解する					
到達目標	お客様へ説明できるような食べ物への知識を深め、検定の問題も合格点を目指す					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	⑥栄養学					
＜授業計画＞	前 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	栄養学とは	栄養学の考え方
第2回	2	体と栄養	体の構成要素
第3回	3	摂取エネルギー量	食べていい量・貯蔵カロリー
第4回	4	栄養素のはたらき	栄養素の種類
第5回	5	たんぱく質・脂質	3大栄養素の考え方(前半)
第6回	6	糖質	3大栄養素の考え方(後半)
第7回	7	ビタミン・ミネラル	ビタミン・ミネラルの構成
第8回	8	食品の分類と組み立て	バランスのとれた食事とは
第9回	9	食生活と健康	さまざまな病気になる原因
第10回	10	食生活と美容	美容に良い成分と摂取法
第11回	11	センター試験問題集	センター試験問題
第12回	12	センター試験問題集	センター試験問題
第13回	13	テスト対策	センター試験問題
第14回	14	テスト	期末テスト
第15回	15	返却	解説

初回持ち物	⑥栄養学の教科書

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)

成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

学校整理番号(102)

シラバス(授業内容)

科目名	東洋西洋セラピー			クラス名	S1E	
1年単位	前期	1 単位	後期	-	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	-	後期	-	2年合計単位	-
担当講師	田村 舞					
	実務経験	有	エステティックサロン経験を元に、お客様のニーズに合わせた 様々な接客、カウンセリング力を習得できるよう幅広く指導をする			
目的及び概要	実際に店舗で行われている東洋・西洋の様々なメニューの知識を身につけ、応用技術に対応できる学習を目標としています。幅広い知識を習得することでお客様に合わせたアドバイス・コース提案力を身につけ、学内サロンの運営に活かします。					
到達目標	固定概念に囚われず、癒しについて学ぶ					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	①エステティック概論・東洋西洋セラピー					
＜授業計画＞	前 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	エステとセラピーの違い	エステティックの歴史・東洋医学と西洋医学の違い
第2回	2	東洋セラピー	アーユルヴェーダ
第3回	3	東洋セラピー	
第4回	4	東洋セラピー	中医学
第5回	5	東洋セラピー	陰陽説・五行説
第6回	6	東洋セラピー	
第7回	7	東洋セラピー	気・血・水/医食同源/気功
第8回	8	東洋セラピー	耳つぼ/カッピング療法
第9回	9	西洋セラピー	アロマテラピー/リフレクソロジー/ポトロジー
第10回	10	西洋セラピー	リンパドレナージュ/タラソテラピー
第11回	11	西洋セラピー	ストーンセラピー/オーラソーマ
第12回	12	西洋セラピー	アートセラピー
第13回	13	期末試験	期末試験
第14回	14	お楽しみ授業	ストーンセラピー
第15回	15	お楽しみ授業	カラーセラピー

初回持ち物	テキスト/ipad/筆記用具

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)

成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

学校整理番号(102)

シラバス(授業内容)

科目名	衛生消毒・救急法			クラス名	S1E	
1年単位	前期	－	後期	1 単位	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	－	後期	－	2年合計単位	－
担当講師	エステ講師					
	実務経験	－				
目的及び概要	美容業は、衛生・消毒に関してのルールが医療に準じた状況で行われます。お客様のお肌に直接触れることで、自分自身が感染したり、またお客様に感染させてしまう場合もあります。お客様と自分自身が病気に感染しない為に、衛生・消毒の知識を身に付けます。そして、サロン内では、突発的な事故やけがも起こる可能性があります。いつ何が起こっても迅速な対処が出来るように救急法の基礎知識を学び応急処置がスムーズに出来るように学びます。					
到達目標	衛生・消毒の基礎知識の理解をし、センター試験合格と美容業界に出てからの一般常識を習得すること。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	サロンでの救急法／衛生・消毒(日本エステティック業協会)					
＜授業計画＞	後 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	シラバス・授業説明	シラバス確認・授業説明・キレイの基準・美容業の守るべきルール
第2回	2	救急法	常識と救急
第3回	3	基礎知識と応急処置	心肺蘇生法と止血
第4回	4	簡単な手当てと病気	症状別応対法①
第5回	5	主な事故・けが	症状別応対法②
第6回	6	まとめ	センター試験問題対策
第7回	7	公衆衛生	公衆衛生とは/歴史
第8回	8		公衆衛生の歴史/日本の衛生法規/小問題
第9回	9	病原微生物	病原微生物の歴史
第10回	10		病原微生物の種類/小問題
第11回	11	感染症	感染と発症/3つの要因
第12回	12		感染症法の対象疾患/予防対策/小問題
第13回	13	センター筆記勉強	センター試験問題対策　模試実施
第14回	14	期末試験	授業内範囲から出題
第15回	15	期末試験返却	期末試験返却・解説

初回持ち物	筆記用具・教科書(上記記載のテキスト)・iPad

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)

成績評価　基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

学校整理番号(102)

シラバス(授業内容)

科目名	エステティック実技理論			クラス名	S1E	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	－	2年合計単位	1 単位
担当講師	田村 舞					
	実務経験	有	エステティックサロンでの経験から必要な知識やマナー、技術について伝えていきます。			
目的及び概要	エステティックの歴史や各国のエステにはどのようなものがあるのかを知り、いろいろなエステの施術・マッサージの効果や化粧品の成分、効果についてを学ぶ。また、ボディのお悩みの原因についても知識をつけていく。実技の授業で実践をしていく。					
到達目標	エステティックの知識を深め、ボディやフェイシャルの施術の効果や禁忌・注意についてを知る。実際に実技の授業で使用する使用化粧品の成分や効果を覚える。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	①エステティック概論・⑤フェイシャル実技理論、④ボディ実技理論教科書・その他					
＜授業計画＞	前 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	エステについて	エステティックとは。どんな仕事か。授業ルールについて。
第2回	2		各国のエステティックとは。ボディ・フェイシャル
第3回	3	マッサージについて	エステマッサージの効果、禁忌、注意について
第4回	4	手技について	エステの6手技とは。効果について。
第5回	5	使用化粧品について	ボディオイルの成分＆効果について。
第6回	6	コンサルシート	カウンセリングとは。シート記入の仕方。
第7回	7	エステの施術について	かっさ、バンテージ、などいろいろなオプションについて。
第8回	8	ボディ機器	ボディ機器とはどんなものがあるか
第9回	9	ボディのお悩みについて	冷えについて
第10回	10		浮腫みについて
第11回	11		過脂肪、セルライトについて
第12回	12		
第13回	13	フェイシャル	フェイシャル化粧品について
第14回	14	期末テスト	期末テスト
第15回	15	返却	期末テスト返却

初回持ち物	筆記用具、エステ実技ファイル、④ボディ実技理論テキスト

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)

成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

学校整理番号(102)

シラバス(授業内容)

科目名	エステティック実技理論			クラス名	S1E	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	-	2年合計単位	1 単位
担当講師	エステ講師					
	実務経験	有	エステティックサロンでの経験から必要な知識やマナー、技術について伝えていきます。			
目的及び概要	エステティックの歴史や現状を学びます。技術を学ぶために必要な知識・禁忌事項・マナーを学んだ後、機器や使用化粧品の知識を深めます。お客様に安心して効果的な技術を提供するために、カウンセリングやホームケアアドバイスなど、実際のサロンでお客様に接した時に対応できるスキルを学びます。					
到達目標	【概論】エステティシャンの仕事を理解する 【エステティック実技理論】エステティック実技を行う上での基礎知識の習得 【カウンセリング】お客様とコミュニケーションをはかり接客することができるようになる					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	①エステティック概論・⑤フェイシャル実技理論、④ボディ実技理論教科書・その他					

＜授業計画＞		後 期	
回数	**コマ数**	**テーマ**	**授業内容詳細**
第1回	1	復習	後期の流れ確認・前期の復習・化粧品＆機器について
第2回	2	ブラシの効果	ブラシ洗顔準備物・手順・注意事項・禁忌事項
第3回	3	酵素・イオン導入	酵素・イオン導入準備物・手順・注意事項・禁忌事項
第4回	4	パター・野菜マスク	パター準備物・手順・注意事項・禁忌事項・効果・野菜マスク
第5回	5	ゴマージュ・パック	ゴマージュ準備物・パックについて(ミネラル・石膏パック)
第6回	6	肌に合わせた トリートメントプランが できるようになる	マッサージについて・コンサルシートの記入方法 (見本を照らし合わせながら確認)
第7回	7		
第8回	8		コンサル作成～完成
第9回	9		
第10回	10	センター対策	口頭試問についての説明・本番ペアの口頭試問カンペ作成
第11回	11		センター技術力確認試験対策(シート記入・口頭試問)
第12回	12		ンター技術力確認試験対策(シート記入・口頭試問)カンペ作成完
第13回	13		理論の期末試験出題範囲・本番のスケジュール説明
第14回	14	期末試験	期末試験
第15回	15	答案返却	答案返却 フィードバック

初回持ち物	筆記用具、実技ファイル、フェイシャル実技理論の教科書

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)

成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

学校整理番号(102)

シラバス(授業内容)

科目名	薬膳入門			クラス名	S1E	
1年単位	前期	1 単位	後期	-	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	-	後期	-	2年合計単位	-
担当講師	小林 優子					
	実務経験	有	セルフケア上手になるための日常に密着した薬膳を得意とし、薬膳料理教室での経験をもとに、日々の食事と生活で体調を整える薬膳をお伝えします。			
目的及び概要	薬膳は、カラダの中から整えて、キレイに、元気になれるもの。カラダの中からのケア、毎日の食事、生活を整えることが、カラダとココロの美人、インナービューティーへの近道です。キレイになり、元気になり、自分に自身を持つことが、周りの人をキレイにすることにつながります。そのための薬膳です。薬膳の専門用語を極力使わずに、わかりやすく薬膳の概要を学びます。毎日の生活の中に落とし込みながら学ぶので、自分の体調や体質に合わせた食事や生活の工夫の知識が身に付きます。					
到達目標	自分の体調や体質を知る事、そしてそれに合わせた食事や生活の工夫ができる力を身につけ、自分の体調を整えることを目標とします。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	前 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	オリエンテーション・薬膳概論①	オリエンテーション・薬膳を学ぶ意味、薬膳とは何かを学びます。
第2回	2	薬膳概論②	薬膳で考えるカラダとココロの分析方法①気血水
第3回	3	薬膳概論③	薬膳で考えるカラダとココロの分析方法①気血水
第4回	4	薬膳概論④	薬膳で考えるカラダとココロの分析方法③五臓
第5回	5	薬膳概論⑤	薬膳で考えるカラダとココロの分析方法③五臓
第6回	6	薬膳概論⑥	薬膳で考えるカラダとココロの分析方法④舌で体質をみる方法 舌の状態、気血水、陰陽、五臓から自分の体質を見て、食事と生
第7回	7	体質別薬膳①	原因である体質を知り、体質に合わせた食材や生活養生法を学びます(**頭痛について**)
第8回	8	体質別薬膳②	原因である体質を知り、体質に合わせた食材や生活養生法を学びます(**むくみについて**)
第9回	9	体質別薬膳③	原因である体質を知り、体質に合わせた食材や生活養生法を学びます(**便秘について**)
第10回	10	体質別薬膳④	原因である体質を知り、体質に合わせた食材や生活養生法を学びます(**目の疲れについて**)
第11回	11	体質別薬膳⑤	原因である体質を知り、体質に合わせた食材や生活養生法を学びます(**やる気アップについて**)
第12回	12	試験対策	期末試験対策を行います
第13回	13	期末試験	まとめの試験を行います
第14回	14	振り返り・まとめ・プレゼンテーション	今までの食事や生活の振り返りを行い、自分の体調や体質に合わせた食事や生活を考え、それに対して取り組んだ事、改善したことをプレゼンします。
第15回	15		

初回持ち物	筆記用具/ipad

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲		○	課題・プレゼンテーション(提出物)

成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

学校整理番号(102)

シラバス(授業内容)

科目名	ビューティビジネス実務検定			クラス名	S1E	
1年単位	前期	1 単位	後期	－	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	－	後期	－	2年合計単位	－
担当講師	細谷 知永					
	実務経験	有	エステセラピスト・カウンセラー経験からスタッフの技術指導や育成を行い、店舗運営・売上管理・顧客対応、施術提案やカウンセリング業務、顧客フォローなどにも携わる。これらの経験を元にお客様視点でのサービス提供とその重要性を理解してもらえるよう、指導を行う。			
目的及び概要	美容サロンへ就職するために必要なビジネススキルと、ビューティコーディネーターの基礎知識、美容サロンで働くうえでの美容基礎知識を網羅する。高い知識とカウンセリングスキルで、お客様に適した美容施術や商品をコーディネートし提案する力を身につける。 全授業にて小テストを実施。授業欠席時には次週の授業日までに小テストの解答を提出。					
到達目標	ビューティビジネス実務検定合格 模擬試験日:6月9日(月) 検定試験日:6月10日(火)					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	ビューティビジネス実務検定公式テキスト					
＜授業計画＞	前 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	ビューティコーディネーターの仕事	ビューティコーディネーターの仕事とは
第2回	2	ビューティコーディネーターの仕事	美容業界におけるビジネスキャリア①
第3回	3	ビューティコーディネーターの仕事	美容業界におけるビジネスキャリア②
第4回	4	サロンコミュニケーション	サロンにおけるビジネスキャリア／ホスピタリティを発揮する
第5回	5	サロンコミュニケーション	サロンでの社内コミュニケーション
第6回	6	接客の基本と言葉遣い	接客の基本と言葉遣い
第7回	7	接客の基本と言葉遣い	サロンにおける電話応対・メールの基本
第8回	8	美容業界とビジネススキル	サロンのメディア活用
第9回	9	サロンにおける仕事内容	サロンオペレーション①
第10回	10	サロンにおける仕事内容	サロンオペレーション②
第11回	11	美容基礎知識	ファッションの理解と美容意識のコーディネート
第12回	12	美容基礎知識	美容基礎知識
第13回	13	美容基礎知識	トータルビューティメニュー
第14回	14	総まとめ	総まとめ
第15回	15	期末テスト	期末テスト

初回持ち物	テキスト/筆記用具/タブレット/タブレットペンシル (初回授業までに、該当のGoogleクラスルームへ参加しておくこと)

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)

成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

学校整理番号(102)

シラバス(授業内容)

科目名	ブライダル概論			クラス名	S1E	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	片山 彩					
	実務経験	有	ゲストハウスやホテルでの勤務の中でサービスやマーケティングなど、婚礼を主にウエディングプランナーの業務に携わる。その経験からウエディングに必要な基礎知識の指導が出来る。			
目的及び概要	人生の節目である『結婚式』についての基礎を幅広く学ぶ。結婚って？結婚式って？結婚式のスタイルや様々な婚礼衣装、トレンドなどブライダルに関わる様々な 知識と仕事について理解を深める。					
到達目標	結婚とはなにか、結婚式にはどんなスタイルがあるのか理解する。ブライダル業界の様々な仕事を理解する。コーディネートを体験し、ブライダルの面白さを学ぶ。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	JWSA WEDDING FASHION ①					
＜授業計画＞	前 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	オリエンテーション	ブライダル概論の授業について / 自己紹介
第2回	2	『結婚』とは	結婚とはなにか / ウエディングストーリー / 挙式スタイル
第3回	3	披露宴	パーティースタイル(ホテル・ゲストハウス・専門式場・レストラン)
第4回	4	結婚式のアイテム①	挙式・披露宴を盛り上げる様々な演出アイテム
第5回	5	結婚式のアイテム②	挙式・披露宴を盛り上げる様々な演出アイテム
第6回	6	結婚式のトレンド	挙式・披露宴・衣装・演出などの結婚式のトレンド
第7回	7	結婚式を創る	結婚～会場決定～結婚式を迎えるまでの流れ
第8回	8	ブライダルのお仕事	結婚式に携わる様々なお仕事
第9回	9	ブライダルのお仕事	結婚式に携わる様々なお仕事
第10回	10	ブライダルのお仕事	結婚式に携わる様々なお仕事
第11回	11	コーディネート	テーマに沿った結婚式をコーディネートする
第12回	12	自分の結婚式をプロデュース①	自分の理想の結婚式をプロデュース(ワーク)
第13回	13	自分の結婚式をプロデュース②	自分の理想の結婚式をプロデュース(ワーク)
第14回	14	期末試験	期末試験
第15回	15	振り返り	テスト返却／授業振り返り

初回持ち物	JWSA WEDDING FASHION①のテキスト / 筆記用具 / iPad

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)

成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

学校整理番号（ 102 ）

シラバス（授業内容）

科目名	ブライダル概論			クラス名	S1E	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	片山 彩					
	実務経験	有	ゲストハウスやホテルでの勤務の中でサービスやマーケティングなど、婚礼を主にウエディングプランナーの業務に携わる。その経験からウエディングに必要な基礎知識の指導が出来る。			
目的及び概要	ウエディングにとって、ご成約いただいたお客様と信頼関係を築きながら当日までのお打ち合わせを進めることは、責任を伴う重要な業務の一つです。成約～当日まで、スケジュールに基づいて、商品ひとつひとつの知識と打ち合わせの進め方、手配方法を取得していきます。					
到達目標	成約～当日～アフターフォローまでの一連の流れを理解する。打ち合わせスケジュールに基づいて商品知識を身に着け、打ち合わせの進め方、手配方法を理解する。結婚式に伴う費用の流れを理解する。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード（日本ブライダル文化振興協会）					
＜授業計画＞	後 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	ブライダルについて	オリエンテーション・ブライダル業界について
第2回	2	結婚とは	結婚するとは？結婚の定義について
第3回	3	日本の結婚式の歴史と文化	日本の結婚式の歴史・結婚に関する風習について
第4回	4	欧米の結婚式の歴史と文化	欧米の結婚式の歴史について
第5回	5	ブライダルの業種	ブライダル市場・ブライダルの業種について
第6回	6	婚約・結納	婚約・結納について
第7回	7	ブライダル準備	結婚までのスケジュール、日時・会場・挙式スタイルの検討
第8回	8	キリスト教式	キリスト教式の流れと意味を理解する
第9回	9	神前式	神前式の流れと意味を理解する
第10回	10	仏前式	仏前式の流れと意味を理解する
第11回	11	人前式	人前式の流れと意味を理解する
第12回	12	披露宴	披露宴の流れと意味を理解する
第13回	13	ブライダル業界研究	ブライダル業界で働くということ・企業から求められる人物像
第14回	14	期末テスト	期末テスト
第15回	15	解答・解説	解答・解説

初回持ち物	筆記用具・ブライダルコーディネーターテキスト

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション（提出物）

成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

学校整理番号(102)

シラバス(授業内容)

科目名	ウェディングスタイリスト			クラス名	S1E	
1年単位	前期	2 単位	後期	2 単位	1年合計単位	4 単位
2年単位	前期	3 単位	後期	2 単位	2年合計単位	5 単位
担当講師	片山 彩					
	実務経験	有	ゲストハウスやホテルでの勤務の中でサービスやマーケティングなど、婚礼を主にウエディングプランナーの業務に携わる。その経験からウエディングに必要な基礎知識の指導が出来る。			
目的及び概要	接客の心構えを学び、「結婚」に関するの知識を習得し、ブライダルの衣装スタイリストとしてのテクニックを身につける。同時にブライダルビジネスへ興味や希望をもって臨める自信をつける。					
到達目標	ブライダル衣装のスタイリストとしての知識と実技を習得し、トータルプロデュースができる。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	JWSA WEDDING FASHION					
＜授業計画＞	前 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1・2・3(4/16)	ブライダルの接客とは	オリエンテーション/ブライダルの接客テクニックとコミュニケーション手法
第2回	4・5・6(4/23)	ドレススタイリストの業務・ファッションの変遷	スタイリストの仕事について / ファッショントレンドからみる婚礼衣装のデザイン
第3回	7・8・9(4/30)	新郎新婦の洋装	ドレスの基礎知識 / ウェディングドレス、カラードレスの特徴と小物類
第4回	10・11・12(6/11)	新郎新婦の洋装	スーツの基礎知識 ブラックフォーマル、新郎の礼装の特徴と小物類
第5回	13・14・15(6/18)	新郎新婦の和装 / 留袖	着物の基礎知識 白無垢、色打掛、大振袖の特徴と文様、小物類
第6回	16・17・18(6/25)	ブライダルインナー	ブライダルインナーの種類と用途、装着のテクニック / アテンドについて
第7回	19・20・21(7/2)	ドレスフィッティング①	ドレスフィッティング体験
第8回	22・23・24(7/9)	ドレスフィッティング②	ドレスフィッティング体験
第9回	25・26・27(7/16)	婚礼衣装のトレンド	ドレスコーディネート(フィッティング・プレゼンテーション)
第10回	28・29・30(7/23)	定期試験	認定試験本番 / テスト返却＆解説 / 振り返り / 私の理想のオリジナルドレス
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			

初回持ち物	テキスト①WEDDING FASHION / iPad

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)

成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

学校整理番号(102)

シラバス(授業内容)

科目名	ウェディングスタイリスト			クラス名	S1E	
1年単位	前期	2 単位	後期	2 単位	1年合計単位	4 単位
2年単位	前期	3 単位	後期	2 単位	2年合計単位	5 単位
担当講師	五十嵐					
	実務経験	有	ブライダルヘアメイクアップアーティストとしてフリーで活躍中。フリーになるまでは、婚礼美容室に所属し、ホテル、ゲストハウス等の会場で、新婦のリハーサルメイク、新郎新婦の当日のお仕度からお引上げ、列席のお仕度、当日のアテンド業務、フォトアテンドまで、多岐に渡る業務経験がある			
目的及び概要	ブライダルヘアメイクアップアーティストの心構えから、自身の美の重要性を理する。新郎新婦の洋装・和装のヘアメイクのテクニックと、洋装の着付け、アテンドの基礎知識を習得し、実践する。					
到達目標	洋装の挙式ヘアメイク、披露宴ヘアメイク、二次会ヘアメイクの違いを理解し、提案、施術ができる。また、新郎新婦のスムーズで美しいアテンドテクニックを身につける。					
授業運営方法	(演習形式) ・ 講義形式					
教科書	WEDDING BEAUTY					
＜授業計画＞	前 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1－2	婚礼美容の業務とは	オリエンテーション／婚礼美容の種類と、業務内容
第2回	3－4	婚礼の流れと当日業務	結婚式当日の流れと、婚礼の当日業務について
第3回	5－6	ナチュラルメイク＆ヘアアップスタイル	基本的なメイクアップとアップスタイルのヘアセット実践
第4回	7－8	新婦洋装 挙式メイクアップ	新婦洋装 挙式のメイクアップの特徴とテクニック(実践)
第5回	9－10	新婦洋装 披露宴メイクアップ	新婦洋装 披露宴のメイクアップの特徴とテクニック(実践)
第6回	11－12	新婦洋装 披露宴メイクアップ	新婦洋装 披露宴のメイクアップの特徴とテクニック(実践)
第7回	13－14	新婦洋装 挙式・披露宴のヘアセット	新婦洋装 挙式・披露宴のヘアセットの特徴とテクニック(デモストレーションと実践)
第8回	15－16	新婦洋装 挙式・披露宴のヘアセット	新婦洋装 挙式・披露宴のヘアセットの特徴とテクニック(実践)
第9回	17－18	ドレス着付けテクニック	ブライダルインナーの装着とドレス着付けテクニック(実践)
第10回	19－20	新郎の装いテクニック	新郎のヘアメイクの特徴とテクニック タキシードの着付け(実践)
第11回	21－22	新郎新婦のアテンドテクニック	新郎新婦のアテンドの注意点とテクニック 挙式終了まで(実践)
第12回	23－24	新郎新婦のアテンドテクニック	新郎新婦のアテンドの注意点とテクニック 挙式終了からお引上げまで(実践)
第13回	25－26	新婦の和装のメイクアップとかつら装着	新婦和装 メイクアップの特徴と、かつらの下地、かつら装着テクニック(映像)
第14回	27－28	お母様(留袖)のヘアメイクテクニック	お母様の留袖の装いに適したヘアセットと、メイクアップの注意点(デモストレーション)
第15回	29－30	定期試験	②WEDDING BEAUTYの認定試験 フィードバック

初回持ち物	テキスト②WEDDING BEAUTY

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)

成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

学校整理番号（ 102 ）

シラバス（授業内容）

科目名	ドレススタイリング			クラス名	S1E	
1年単位	前期	－	後期	3 単位	1年合計単位	3 単位
2年単位	前期	2 単位	後期	2 単位	2年合計単位	4 単位
担当講師	坂田 依智子					
	実務経験	有	ウェディング総合プロデュース会社「TAKAMI BRIDAL」にて、ドレススタイリストとして15年間、ドレスショップや式場、ホテルの現場にて接客から結婚式当日対応までの婚礼衣装のレンタル業務、また責任者として店舗の売上管理、部下の育成、新卒採用にも携わる。			
目的及び概要	ドレススタイリスト業務の一つである衣装管理として、ドレス・メンズフォーマルの素材やしくみを縫製・フィッティングの実践を通して理解し、ドレス・メンズフォーマルの正しい扱い方を身につける。また、トータルコーディネートの知識を習得する。					
到達目標	ドレス・メンズフォーマルの素材やしくみを理解し、正しく扱うことができる。また、正しく美しくスピーディーなフィッティングスキル、トータルコーディネートスキルを身につける。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	後 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1－3	ドレススタイリストとは／ドレスのディテール	オリエンテーション／ドレススタイリスト業務、必要な心構えとスキル／ドレスのディテールの復習
第2回	4－6	ドレスの素材／ドレスフィッティング	ドレス素材について／ドレスの扱い方、ドレスフィッティング手順
第3回	7－9	ドレスフィッティング	サイズの見方、ドレス・小物フィッティング
第4回	10－12	メンズフォーマル基礎知識／メンズフォーマルのフィッティング	メンズフォーマル基礎知識の復習／メンズフォーマルのフィッティング、ネクタイの結び方
第5回	13－15	レンタル衣装の縫製とは／裁縫道具の扱い方、基本縫い	縫製の種類／裁縫道具の管理の重要性・仕方、基本の縫い方
第6回	16－18	衣装メンテナンス①	衣装をチェックして必要なメンテナンス（縫製）、ループ作り
第7回	19－21	衣装メンテナンス②	アイロンの扱い方、プレス方法／衣装の汚れの種類、落とし方
第8回	22－24	衣装メンテナンス③	メンズフォーマルのサイズの見方、サイズ直し（スラックスの丈詰め）、試着
第9回	25－27	トータルコーディネート①	衣装選びのポイント、イメージ別のトータルコーディネート
第10回	28－30	トータルコーディネート②	会場別のトータルコーディネート
第11回	31－33	トータルコーディネート③	体型別のトータルコーディネート
第12回	34－36	トータルコーディネート④	イメージ、会場、体型にあわせたトータルコーディネート
第13回	37－39	試験対策	総復習、ドレス・メンズフォーマルフィッティング練習
第14回	40－42	定期試験	筆記試験、実技試験（ドレス・メンズフォーマルフィッティング）
第15回	43－45	定期試験振り返り、フィードバック	筆記・実技試験の振り返り、フィードバック

初回持ち物	筆記用具、白手袋

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション（提出物）

成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

学校整理番号(102)

シラバス(授業内容)

科目名	和装着付け			クラス名	S1E	
1年単位	前期	－	後期	2 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	3 単位	後期	－	2年合計単位	3 単位
担当講師	株式会社アンズガーデン 溝畠奈緒美					
	実務経験	有	和装の基礎知識や技術を習得するとともに、お客様への対応や着物の選び方も指導していく。			
目的及び概要	着物に関わる基礎知識や和装着付けに必要な技術を身に付ける為、着物のたたみ方から浴衣での自装、又ブライダルサロンやスタジオで必要となる訪問着や振袖の着付け、帯結びが出来るように進めていきます。和装に興味が広がるように指導します。					
到達目標	浴衣自装・他装（肌着～帯結びまで）20分で着付け					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	JWSA WEDDING FASHION					

＜授業計画＞		後 期	
回数	**コマ数**	**テーマ**	**授業内容詳細**
第1回	1－2	基本 （座学）	着物の種類や名称
第2回	3－4	基本	着物のたたみ方 肌着の付け方 ～ 浴衣
第3回	5－6	自装 浴衣の着付け ①	浴衣 ～ 帯結び
第4回	7－8	自装 浴衣の着付け ②	浴衣 トータル
第5回	9－10	自装 浴衣の着付け ④	浴衣 トータル
第6回	11－12	補正	補正の作成
第7回	13－14	他装 訪問着の着付け ①	長襦袢の着付け
第8回	15－16	他装 訪問着の着付け ②	長襦袢 ～ 着物
第9回	17－18	他装 訪問着の着付け ③	長襦袢 ～ 着物
第10回	19－20	他装 訪問着の着付け ④	二重太鼓 帯結び
第11回	21－22	他装 訪問着の着付け ⑤	訪問着 トータル
第12回	23－24	他装 訪問着の着付け ⑥	訪問着 トータル
第13回	25－26	テストに向けて	実技テストに向けての実習
第14回	27－28	テスト	筆記（20分） / 他装 長襦袢 ～ 訪問着 着付け （30分）
第15回	29－30	テスト結果 復習	テスト見直し

初回持ち物	筆記用具 ネームペン

成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション（提出物）

成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

学校整理番号（ 102 ）

シラバス（授業内容）

科目名	エステティック実習			クラス名	S1E	
1年単位	前期	4 単位	後期	4 単位	1年合計単位	8 単位
2年単位	前期	4 単位	後期	－	2年合計単位	4 単位
担当講師	菊谷 未歩 ・ 戸田 奈美 ・ 中島 夕希					
	実務経験	有	エステサロンでの経験からサロンでのニーズに即した対応力・マナーを等を伝え、ボディ実技を習得する。			
目的及び概要	エステシャンに必要なものは「知識」「技術」「おもてなしの心」です。エステテシャンの技術を中心に接客やマナーの基礎を実践しながら、エステテシャンとして必要な挨拶や敬語、ご案内委の仕方、接客中の対応、掃除等をサロン業務を学んでいきます。笑顔で積極的にコミュニケーションがとれる人材を育成します。					
到達目標	接客やマナーが身に付き、ご挨拶、ご案内、脚両面のマッサージやエステサロンの主なコースの習得が出来るようにしていきます。前期目標の「言われたことが出来る人になる」ことを目指していきます。					
授業運営方法	（演習形式） ・ 講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	**前 期**					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1－4	準備	事前準備/ベットメイキング/挨拶/片付け/掃除などについて
第2回	5－8		ベットメイキング/ご案内/脚背面デモンストレーション前半
第3回	9－12	脚背面マッサージ	脚背面マッサージデモンストレーション後半→練習
第4回	13－16		脚背面マッサージ練習
第5回	17－20		
第6回	21－24	脚表面マッサージ	脚表面マッサージデモンストレーション→練習
第7回	25－28		脚表面マッサージ練習
第8回	29－32	カウンセリング 様々なエステティック マッサージ練習	①カウンセリング/脚マッサージ/バイブレーション機器 ②カウンセリング/脚マッサージ/かっさ ③カウンセリング/足湯バスソルト/かかと角質除去/マッサージ
第9回	33－36		
第10回	37－40		
第11回	41－44	期末試験対策	脚両面マッサージ練習
第12回	45－48	期末テスト	期末テスト
第13回	49－52	腕マッサージ	腕マッサージデモンストレーション→練習
第14回	53－56	フェイシャル	クレンジング/拭き取り/整肌/デモンストレーション
第15回	57－60		相モデル練習→パック

初回持ち物	□筆記用具 □メモ帳 □ローブ □シーツ □フェイスタオル5枚□タイマー □ビニール袋 □実技ファイル □タオルハンカチ又はハンドタオル □キャミソールとくつ下（着用してくること） **※実習着用、ピアス・カラーコンタクト不可・夜会巻きで参加すること**（初回：上は黒のTシャツ）

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト	定期試験	○	実技試験
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション（提出物）

成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

学校整理番号(102)

シラバス(授業内容)

科目名	エステティック実習			クラス名	S1E	
1年単位	前期	4 単位	後期	4 単位	1年合計単位	8 単位
2年単位	前期	4 単位	後期	－	2年合計単位	4 単位
担当講師	エステ講師					
	実務経験	有	エステサロンでの経験からサロンでのニーズに即した対応力、マナー等を伝え、ボディ実技を習得する。			
目的及び概要	センター試験合格に向けて、ディープクレンジング、フェイシャル機器、マッサージ、パック、についてを学び、肌状態に合わせてフェイシャルコースの選択が出来るように知識、技術を身に付けていきます。後期目標『言われなくても出来る人になる』を心がけ行動していきましょう。					
到達目標	クレンジング、ディープクレンジング、フェイシャル機器、マッサージ、パックの知識や技術を習得し、肌タイプ・ お悩みに合わせたコース選択をし、センター試験の合格を目指していきます。					
授業運営方法	(演習形式) ・ 講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	**後 期**					

回数	**コマ数**	**テーマ**	**授業内容詳細**
第1回	1－4	マッサージ強化	マッサージデモ・マッサージ練習(ウィッグ、相モデル)
第2回	5－8	ディープクレンジング フェイシャル機器 パック	Pクレ・クレンジング・スクラブ・マッサージ練習
第3回	9－12		Pクレ・クレンジング・酵素(デモ)・マッサージチェック
第4回	13－16		Pクレ・クレンジング・カウンセリング・マッサージパック練習
第5回	17－20		カウンセリング・ディープ・マッサージ ・パック
第6回	21－24	センター実技試験練習	試験モデルに合わせたコースで練習 Pクレ・クレ・カウ・ディープ・マッサージ・パック コンサルシート・口頭試問
第7回	25－28		
第8回	29－32		
第9回	33－36		
第10回	37－40	センター試験対策	模擬試験前練習・コンサル・口頭試問強化
第11回	41－44		模擬試験前練習・コンサル・口頭試問強化
第12回	45－48	期末・模試	模擬試験・フィードバック ※期末試験も兼ねる
第13回	49－52	期末・模試	模擬試験・フィードバック ※期末試験も兼ねる
第14回	53－56	検定試験本番	センター実技試験本番
第15回	57－60	検定試験本番	センター実技試験本番

初回持ち物	すっぴん、実技ファイル、ローブ、シーツ、フェイスタオル6枚(そのうちHOT1枚)、ウィッグ、筆記用具、メモ帳、ハンカチ、ビニール袋(小)、その他前期同様の準物と服装、身だしなみ ※当番:出席番号1番・2番

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト	定期試験	○	実技試験
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)

成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

学校整理番号(102)

シラバス(授業内容)

科目名	アロマベーシック			クラス名	S1E	
1年単位	前期	1 単位	後期	-	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	-	後期	-	2年合計単位	-
担当講師	安齋孝子					
	実務経験	有	アロマコーディネーター協会認定加盟校講師・同時にサロン経営15年の経験をもとにセラピストとして必要な知識、接客のポイントを現場のニーズに沿って指導する。			
目的及び概要	アロマセラピーとは何か、香りは心身の精神や健康に作用するので最低限必要な使用方法、知識、禁忌事項を学びます。化粧水などのアロマクラフトも自作できるようアロマセラピーを学び、ビューティの仕事に役立つ知識を身につけます。					
到達目標	数種類のエッセンシャルオイル(精油)の香り・種類・特性を学びます。 ハンドマッサージ等、セルフケアから体や心にどのような影響があるかを理解します。 植物の香りと色を通じて心理への関係性を理解します。					
授業運営方法	(演習形式) ・ 講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	**前 期**					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	生活の中の香り	思い出の香りと記憶の関係性
第2回	2	アロマセラピーとは	施香(グレープフルーツ・オレンジ)禁忌事項について
第3回	3	精油の種類①	施香(他柑橘系、ラベンダー・ティーツリー・ゼラニウム)芳香浴体験
第4回	4	精油の種類②	施香(ローズマリー・フランキンセンス・ペパーミント他)バスソルト作成
第5回	5	精油の種類③	施香(クラリセージ・サイプレス・レモングラス・パチュリー)
第6回	6	精油の肌に対する働き	施香(サンダルウッド・ジュニパー)クレイパック作成
第7回	7	香りと心理について①	好きな香りを嗅いで曼荼羅塗り絵
第8回	8	香りと心理について②	カラーセラピーの体験
第9回	9	オリジナルアロマクラフト	アロマブレンドについて、化粧水作成
第10回	10	腕のトリートメント	トリートメントオイル作成と実習
第11回	11	ひざ下のトリートメント	アロマトリートメントの有用性と実習
第12回	12	アロマクラフトの種類	簡単に作れるアロマクラフト　マウスウオッシュ作成
第13回	13	リラクゼーションの必要性	ブレンドの有用性、ルームスプレー作成
第14回	14	試験対策	禁忌事項についての確認と前期総復習
第15回	15	期末試験	授業内の範囲から出題

初回持ち物	ipad・筆記用具・1年次に使用したノート等　テキスト2冊

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト	定期試験	○	実技試験
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)

成績評価　基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

学校整理番号(102)

シラバス(授業内容)

科目名	ヨガベーシック			クラス名	S1E	
1年単位	前期	1 単位	後期	-	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	-	後期	-	2年合計単位	-
担当講師	岩木 浩子					
	実務経験	有	30年間の現場グループ指導の経験を活かして、運動の必要性や楽しさを伝える。			
目的及び概要	ヨガを通じて身体の歪みや心身の不調を取り除く方法を身につけ日々の生活を良いものに変え、肯定的に生きる環境を手に入れる事を目的とする。					
到達目標	ヨガのついての雑学、人間について学ぶプロセスを知る。代表的な「太陽礼拝」を覚える。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	前 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	オリエンテーション	ウエルカムヨガ・速攻で身体を柔らかくする方法
第2回	2	ヨガの哲学	ヨガって何？・確認テスト・呼吸の実践
第3回	3	ヨガの効果	ヨガの効果・確認テスト・太陽礼拝
第4回	4	ハタヨガ	ハタヨガとは？確認テスト・ハタヨガの実践
第5回	5	アヴィディヤ	本当の自分について考える時間・太陽礼拝
第6回	6	ナーディー	身体のエネルギーについて・美脚を作るポーズ
第7回	7	チャクラ	エネルギーセンター・ヒップアップポーズ
第8回	8	プラーナ	エネルギーの概念・太陽礼拝
第9回	9	実技	太陽礼拝全体練習
第10回	10	実技	太陽礼拝グループ練習
第11回	11	実技	太陽礼拝グループ練習
第12回	12	実技	太陽礼拝グループ練習
第13回	13	実技	太陽礼拝グループ練習
第14回	14	期末試験	太陽礼拝
第15回	15	まとめ	クロージングヨガ

初回持ち物	ヨガに適した服装(ジャージ、レギンス、Tシャツ、トレーナー、など) 筆記用具

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト	定期試験	○	実技試験
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)

成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

学校整理番号(102)

シラバス(授業内容)

科目名	リフレクソロジー			クラス名	S1E	
1年単位	前期	1 単位	後期	-	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	-	後期	-	2年合計単位	-
担当講師	鈴木瞳・藤江昭子・森菊子・山本麻奈					
	実務経験	有	日本ヒーリングリラクセーション協会【JHRS】認定リフレクソロジー・プロライセンス実技士。実務経験を活かしてお客様にあった施術計画や実践ができるよう、リフレクソロジーの基礎を伝えていく。			
目的及び概要	反射学と訳されるリフレクソロジーは、手や足に全身が映し出されていると考えられています。手や足を刺激することで本来持っている自然治癒力を高めることを目的としたセラピーです。そのために必要となる理論や歴史を中心に学びますが、手軽に技術を提供することが可能であるため、前期に基本となる技術を習得します。長期休暇時のボランティアなどで即実践が可能な技術となっています。今後習得する技術との併用も可能なため、技術のバリエーションを広げます。					
到達目標	基本となる技術を習得(リフレクソロジー導入まで)					
授業運営方法	(演習形式) ・ 講義形式					
教科書	テキスト(プリント)配布					
＜授業計画＞	前 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	リフレクソロジーの 理論と歴史	リフレクソロジーの理論と歴史について 基本の指使い 実践 ハンドリフレクソロジー
第2回	2		
第3回	3		
第4回	4	足に施術をすることで分かる お疲れのサイン	リフレクソロジーの歴史 実践 (不調別リフレクソロジー 頭の疲れ・肩こり編)
第5回	5		
第6回	6		
第7回	7	足に施術をすることで分かる お疲れのサイン	記録の取り方・コミュニケーション 実践 (不調別リフレクソロジー むくみ・肌荒れ編)
第8回	8		
第9回	9		
第10回	10	足に施術をすることで分かる お疲れのサイン	実践 (不調別リフレクソロジー便秘・腰痛・生理痛編)
第11回	11		
第12回	12		
第13回	13	筆記テスト・実践のまとめ	筆記テスト/ 実践のまとめ(相手の不調に合わせた施術の実践)
第14回	14		
第15回	15		

初回持ち物	筆記用具、フェイスタオル(もしくは準ずるもの) 、ギャルソン着用

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)

成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

学校整理番号(102)

シラバス(授業内容)

科目名	メイク＆ヘアアレンジメント実習			クラス名	S1E	
1年単位	前期	3 単位	後期	4 単位	1年合計単位	7 単位
2年単位	前期	4 単位	後期	3 単位	2年合計単位	7 単位
担当講師	浅岡 久美 ・ 大内 博子					
	実務経験	有	ヘアメイクアップアーティストの立場から、撮影やメイクアドバイスなどの経験をふまえ、ヘアアレンジとメイクアップの基本を伝えていく。			
目的及び概要	1年時はメイクアップの基礎とヘアアレンジの基礎を実習を通して学びます。 メイクアップでは、ベースメイクからフルメイクを学び、ヘアアレンジでは編み込みを取り入れた簡単なアレンジ方法などを学びます。 相モデルで実践し人に施術ができるようになることを目標としています。					
到達目標	相モデルで実践し人に施術ができるようになることが目標					
授業運営方法	(演習形式) ・ 講義形式					
教科書	日本メイアップク技術検定公式テキスト2，3級					
＜授業計画＞	前 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1－3	メイクの基礎知識、ベースメイク1	道具の種類や使い方(メイクブラシの種類や使い方、お手入れ方法)、セッティング、コントロールカラー、色合わせ
第2回	4－6	ベースメイク2	下地、コントロールカラー、ファンデーションの塗り方、フェイスパウダーのつけ方
第3回	7－9	ベースメイク3	復習、コンシーラーでのカバーの仕方
第4回	10－12	アイメイク1	眉の描き方、アイシャドーのつけ方
第5回	13－15	アイメイク2	復習、アイラインの引き方、ビューラーのかけ方、マスカラのつけ方
第6回	16－18	ベースメイク4、立体感、リップ	ベースメイク(ブラシ)、チーク、ハイライト、ローライトの入れ方、リップの
第7回	19－21	ヘア1	編み込み、ピン打ち、編み込みアレンジ
第8回	22－24	ヘア2	コテの使い方
第9回	25－27	顔型修整	顔型によるチーク、ハイライト、ローライトの入れ方の違い、ポイントメイク復習
第10回	28－30	フルメイク	メイク復習
第11回	31－33	就活ヘアメイク	就活に向けての好感度UPヘアメイク
第12回	34－36	ヘア3	相モデルでヘアアレンジ
第13回	37－39	イメージヘアメイク	相モデルのイメージに合わせたヘアメイク
第14回	40－42	期末テスト、メイク画作成	期末テスト(筆記)、メイク画作成(最終日に使用)
第15回	43－45	テーマ別メイク	前回考えたプランをもとに実際にメイクを仕上げる

初回持ち物	ブラシセット、スポンジ、パフ(←授業前に配布された場合)、白タオル(フェイスタオルサイズ34cm×84cm位)3枚、ティッシュ(箱又はポケットティッシュ)、名前シール(←授業前に配布された場合。名前を書いた状態で持参)、サインペン(タオル、パフ、スポンジに名前をかきます)、ipad			
成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)

成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

学校整理番号（ 102 ）

シラバス（授業内容）

科目名	メイク＆ヘアアレンジメント実習			クラス名	S1E	
1年単位	前期	3 単位	後期	4 単位	1年合計単位	7 単位
2年単位	前期	4 単位	後期	3 単位	2年合計単位	7 単位
担当講師	浅岡 久美					
	実務経験	有	ヘアメイクアップアーティストの立場から、撮影やメイクアドバイスなどの経験をふまえ、ヘアアレンジとメイクアップの基本を伝えていく。			
目的及び概要	1年時はメイクアップの基礎とヘアアレンジの基礎を実習を通して学びます。 メイクアップでは、ベースメイクからフルメイクを学び、ヘアアレンジでは編み込みを取り入れた簡単なアレンジ方法などを学びます。 相モデルで実践し人に施術ができるようになることを目標としています。					
到達目標	相モデルで実践し人に施術ができるようになることが目標					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	日本メイアップク技術検定公式テキスト2，3級					
＜授業計画＞	後 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1－4	ヘア復習	ダウンスタイル、ハーフアップなどアレンジスタイル
第2回	5－8	メイク復習	ポイントメイクの復習
第3回	9－12	検定対策1	クレンジング
第4回	13－16	検定対策2	スキンケア
第5回	17－20	検定対策3	ベースメイク
第6回	21－24	検定対策4	トータル練習
第7回	25－28	検定対策5	トータル練習
第8回	29－32	検定対策6	トータル練習
第9回	33－36	検定日（仮）	JMA3級検定日（仮）
第10回	37－40	ブライダルメイク1	和装（洋髪）の基本的なメイク
第11回	41－44	ヘアの基礎知識	毛髪知識、コームやブラシの使い方
第12回	45－48	ブライダルメイク2	洋装の基本的なメイク
第13回	49－52	ブライダルヘア	洋装の基本的なヘアアレンジ
第14回	53－56	ブランド別メイク	メイクブランドの春メイク
第15回	57－60	ブライダルイメージヘアメイク	キュート、フレッシュ、エレガント、クラシック

初回持ち物	白タオル、ブラシセット、スポンジ、パフ（←授業前に配布された場合）、ティッシュ（箱又は同党のもの）、名前シール、サインペン（タオル、パフに名前をかきます）、シラバス

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト	定期試験	○	実技試験
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション（提出物）

成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

学校整理番号(102)

シラバス(授業内容)

科目名	ネイル実習			クラス名	S1E	
1年単位	前期	3 単位	後期	4 単位	1年合計単位	7 単位
2年単位	前期	－	後期	－	2年合計単位	－
担当講師	有倉　麻衣子・鯨井　朋子・齋藤　鮎美					
	実務経験	有	サロンワーク、講師経験ともに豊富な実務経験を持つJNA認定講師がその経験を活かし、ネイルの基礎を伝えていく。			
目的及び概要	美容にはネイルの知識が必要です。ネイル製品の販売にはネイルの専門知識が必要です。その為、幅広い分野で活躍できるよう、爪と指先の知識をしっかり勉強してまいりましょう。					
到達目標	ネイルケアの基礎を理解する。 JNECネイリスト技能検定3級実技の流れをトレーニングして理解する。					
授業運営方法	(演習形式)　・　講義形式					
教科書	JNAテクニカルベーシック					
＜授業計画＞	**前　期**					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1－3	オリエンテーション	授業について/商材配布
第2回	4－6	ネイル理論・実技	ネイルの歴史/テーブルセッティング/カットスタイル/ファイル
第3回	7－9	ネイル理論・実技	爪の構造と働き/基本の塗り方
第4回	10－12	ネイル理論・実技	色相環/アートの描き方
第5回	13－15	ネイル理論・実技	消毒法/フラットアート/ファイル/ポリッシュオフ
第6回	16－18	ネイル理論・実技	爪や皮膚の病気とトラブル/ネイルケアプッシャー
第7回	19－21	ネイル理論・実技	ネイルの技術体系/皮膚科学/ネイルケアニッパー
第8回	22－24	実技	ネイルケア手順
第9回	25－27	実技	総合トレーニング
第10回	28－30	実技	総合トレーニング/デザイン
第11回	31－33	実技	総合トレーニング
第12回	34－36	期末試験	筆記試験・実技試験
第13回	37－39	期末試験	筆記試験・実技試験
第14回	40－42	実技	サロンスタイル
第15回	43－45	実技	サロンスタイル

初回持ち物	教科書(JNAテクニカルベーシック)・油性ペン(細い)・はさみ・セロテープ・筆記用具

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト	定期試験	○	実技試験
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)

成績評価　基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

学校整理番号(102)

シラバス(授業内容)

科目名	ネイル実習			クラス名	S1E	
1年単位	前期	3 単位	後期	4 単位	1年合計単位	7 単位
2年単位	前期	－	後期	－	2年合計単位	－
担当講師	ネイル講師					
	実務経験	有	サロンワーク、講師経験ともに豊富な実務経験を持つJNA認定講師がその経験を活かし、ネイルの基礎を伝えていく。			
目的及び概要	ネイルケアの基礎を理解する JNECネイリスト技能検定3級実技の流れを理解する ポリッシュカラーの特徴を理解し様々なアートに挑戦する					
到達目標	ネイルケアの基礎を理解する。JNECネイリスト技能検定3級実技の流れを理解する。 **1/18(日)JNECネイリスト技能検定試験3級合格**					
授業運営方法	(演習形式) ・ 講義形式					
教科書	JNAテクニカルベーシック					

＜授業計画＞		後 期	
回数	**コマ数**	**テーマ**	**授業内容詳細**
第1回	1－4	検定試験について	3級DVD、教材配布、要項確認、テーブルセット
第2回	5－8	アート	アートの描き方
第3回	9－12	ネイルケア	指の持ち方、ファイリング、プッシャー
第4回	13－16		プッシャー、ニッパー、ガーゼクリーンナップ
第5回	17－20	カラー	カラーオフ
第6回	21－24	タイム	70分:3級検定
第7回	25－28		
第8回	29－32		
第9回	33－36		
第10回	37－40	模擬試験	総合トレーニング
第11回	41－44	仕込み	JNECネイリスト技能検定3級仕込み
第12回	45－48	アート	サロンワークデザイン
第13回	49－52	カラーリング	デザイン制作
第14回	53－56		
第15回	57－60	期末試験	チップ提出

初回持ち物	教科書、油性ペン(細い)、フェイスタオル5枚(内3枚は無地)、ハンドタオル、はさみ、ノリ、iPad、安全ピン3本(大きいサイズ)、キッチンペーパー、ゴミ袋、セロテープ、筆記用具

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト	定期試験	○	実技試験
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)

成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

学校整理番号(102)

シラバス(授業内容)

科目名	カラーデコレート			クラス名	S1E	
1年単位	前期	1 単位	後期	-	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	-	後期	2 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	岡永めぐみ					
	実務経験	有	パーソナルカラーや色彩心理を使ったカウンセリング、色彩検定等、カラーに関する資格を複数所有し、ブライダルの分野では新郎新婦のパーソナルカラー診断や希望に応じたブーケや小物に至るものをデザイン、制作しトータルでカラーコーディネートを担当しているため、より実践的な指導が出来る。			
目的及び概要	前半は美容業界においてカラーを学習する意味を理解する。そこから自分が人からどのように見られ、また自分はどのように見られたいのかを確認し、カラーによって印象を操作する方法を学ぶ。また基本的な色彩用語を学び、日常でも使うことで理解を深める。後半は就職活動において、ビジネスカジュアルを理解することで迷うことなく自分でコーディネートすることが出来る。					
到達目標	・自分を色でプロデュースすることが出来る ・色の基本知識を説明することが出来る ・就職活動における基本のファッションを説明することが出来る					
授業運営方法	(演習形式) ・ 講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	**前 期**					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	色を勉強する意味とは	美容業界においてカラーを勉強する意味をする
第2回	2	自分や友達を色で表現する	自分とクラスメイトを色で表現する
第3回	3	色彩心理を知る	色の意味を知る
第4回	4	色の基本的知識を理解する1	色の三属性とトーンを理解する(色相ゲーム等)
第5回	5	色の基本的知識を理解する2	色の三属性とトーンを理解する(色相環作成)
第6回	6	色の基本的知識を理解する3	色の三属性とトーンを理解する(トーン図作成をして色の変化をみる
第7回	7	パーソナルカラーの基本知識を知る	パーソナルカラーにおける色の違いを理解する
第8回	8	パーソナルカラーにおける色の違いを理解する	シーズン毎の色を確認する
第9回	9	パーソナルカラーの自己診断をする1	ボディチェックをし、自分の得意な色を推察する
第10回	10	パーソナルカラーの自己診断をする2	ボディチェックをし、自分の得意な色を推察する
第11回	11	就活に向けたファッションを知る1	社会人としてファッションを身につける
第12回	12	就活に向けたファッションを知る2	就活でNGな身なりを確認する
第13回	13	就活に向けたファッションを知る3	自分に合った就活ファッションを確認する
第14回	14	試験	試験
第15回	15	試験の解説	試験の解説と質疑応答

初回持ち物	のり、はさみ、カラーカード199、,筆記用具

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)

成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

学校整理番号（102）

シラバス（授業内容）

科目名	ビューティプログラム			クラス名	S1E	
1年単位	前期	1 単位	後期	2 単位	1年合計単位	3 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	単位	2年合計単位	1 単位

担当講師	担当講師		
	実務経験	無	各業界の現場経験の実績を活かし、美容業界で就業するために必要なスキルを指導していく。

目的及び概要	ビューティの仕事に就くための基礎を身につけ、継続的に意識付けをすることで習慣化する。 社会人になった際の即戦力となる。
到達目標	ビューティの仕事に就くための基礎を身につける。 ビューティの意識を習慣づけることが出来るようになる。
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式
教科書	なし

＜授業計画＞ **前 期**

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	ビューティの基礎 ①	講話（学園生活/美容業界）
第2回	2		
第3回	3		挨拶・キレイなお辞儀レッスン
第4回	4		
第5回	5		コミュニケーションスキル①
第6回	6		
第7回	7	ビューティの基礎 ②	コミュニケーションスキル②
第8回	8		
第9回	9		スーツの着こなしについて（スーツ着用日について）
第10回	10		制服の着こなし方（実際に着用する）
第11回	11		
第12回	12		ビューティの意識
第13回	13	ビューティの基礎 ③	身嗜みについて（服装・夜会巻き、ハーフアップ）レッスン
第14回	14		
第15回	15		

初回持ち物	筆記用具、メモ帳、タブレット

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲		○	課題・プレゼンテーション（提出物）

成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

学校整理番号（102）

シラバス（授業内容）

科目名	ビューティプログラム			クラス名	S1C	
1年単位	前期	1 単位	後期	2 単位	1年合計単位	3 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	単位	2年合計単位	1 単位

担当講師	担当講師		
	実務経験	無	各業界の現場経験の実績を活かし、美容業界で就業するために必要なスキルを指導していく。

目的及び概要	ビューティの仕事に就くための基礎を身につける。 ビューティの意識を習慣づけることが出来るようになる。
到達目標	ビューティの仕事に就くための基礎を身につける。 サロンワークの理解を深め、即戦力に必要なスキルを身に付ける
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式
教科書	なし

＜授業計画＞		後 期	
回数	**コマ数**	**テーマ**	**授業内容詳細**
第1回	1・2	外部研修①	外部研修を通じて、美容業界について知識を深める
第2回	3・4		
第3回	5・6		
第4回	7・8	サロンワーク準備	各役割担当決め、各役割の仕事について
第5回	9・10		メニュー決め/接客マニュアル作成/各役割担当別準備
第6回	11・12		サロンレイアウト/接客・技術練習
第7回	13・14	サロンワーク①	サロンワーク本番①
第8回	15・16		
第9回	17・28		
第10回	29・20	サロンワーク②	サロンワーク本番②
第11回	21・22		
第12回	23・24		
第13回	25・26	外部研修②	外部研修を通じて、美容業界で働くためのホスピタリティ 接客スキルを学ぶ
第14回	27・28		
第15回	29・30		

初回持ち物	筆記用具、メモ帳、タブレット

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲		○	課題・プレゼンテーション（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				